

記載例1 様式第8号 [無期刑仮釈放者の刑の執行の免除の例]

恩 敖 願 書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇保護観察所長 〇〇〇〇 殿

氏名 〇〇〇〇 印

下記のとおり恩赦の出願をします。

氏名	〇〇〇〇		
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	職業	無職
本籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		
住居	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇		
言渡し裁判所	〇〇地方裁判所		
言渡し年月日	昭和〇〇年〇月〇日		
罪名・刑名・ 刑期・金額 及び犯数	強盗殺人、強盗、窃盜 無期懲役 1犯		
刑執行の状況	刑の始期 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 仮釈放の年月日 昭和〇〇年〇月〇日 刑終了の年月日 無期		
恩赦の種類	刑の執行の免除		
出願の理由	別紙のとおり		
添付資料	戸籍謄本1通		
付記	前回恩赦（刑の執行の免除）出願 平成〇〇年〇月〇日		

別 紙
(出願の理由)

私は、〇〇歳のときに、強盗殺人事件を起こして無期懲役の判決を受けましたが、昭和〇〇年〇月〇日に仮釈放を許され、その後も、毎日過去を反省しながら生活してきました。

私が過去に起こした大罪につきましては、今も反省と後悔の日々を送り、被害者とその御遺族の方には、心からお詫びを続けております。自分の罪を一生背負っていかなければならないことは承知しておりますので、この先も、命の続く限り、被害者の方の御冥福を祈り続ける気持ちに変わりはありません。

私は、現在、シルバー人材センターに登録し、時折、植木の剪定などの仕事をもらっていますが、本件を秘匿して就職しており、本件や無期懲役を受けていることが発覚しないか不安な日々を送り、それが日常生活上の精神的な負担になっています。

また、県外で生活している長女や次女の子供や、それぞれの夫の親戚の一部には、自分の事件のことや無期懲役を受けていることを秘匿にしていますので、自分の過去の事件のことが知れたら、家族や親族を苦しめることになるのではないかと日夜不安を感じております。

さらに、国民として選挙権を行使できることや、そのことを周囲の人から変に思われているのではないかと不安に思っています。

〇〇さんの御遺族の方のお気持ちを考えると、大変厚かましいとも思いましたが、家族を少しでも安心させるためにも、恩赦の出願することを決意しました。

今後とも自らを厳しく律し、二度と罪を犯さないことを固くお約束しますので、どうか寛大なる御配慮を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひいたします。